

開講科目名	日本語IVB			
成績入力担当	王 海涛	開講区分		単位数
		第2クォーター		0.5単位
ナンバリングコード	R1JJ190	曜日・時限等	火4(対面)	時間割コード

授業のテーマ

上級レベルの読解力の育成を図る。

授業の到達目標

1. 上級レベルの読解に必要な語彙、文型、表現等を理解することができる。
2. 実際に書かれた論文を読み、序論、本論、結論のそれぞれにおいて、構成、論の展開、論文表現などを身につける。
3. 学術論文を読んで要約文を書き、レジュメを作成して発表することができる。

授業の概要と計画

※本授業は対面で実施する。

本授業では、学術論文の読解を通じて、アカデミック・リーディングに必要な知識や高度な読解力を身につけていく。学術論文の構成、展開、表現などを実践的に学び、研究活動に必要な読解力及び論理的な思考力を養成する。授業計画は、以下の通り。

- 1回目 (6/16) 論文を読む/構成
- 2回目 (6/23) 論文を読む/序論
- 3回目 (6/30) 論文を読む/本論(1)
- 4回目 (7/7) 論文を読む/本論(2)
- 5回目 (7/14) 論文を読む/結論
- 6回目 (7/21) 論文を読む/総合練習
- 7回目 (7/28) 論文発表
- 8回目 (8/4) 授業の振り返り

全8回 (15時間)

成績評価方法

課題 (30%)、発表 (20%)、授業参加度 (30%)、最終課題 (20%) で評価する。

成績評価基準

課題は、実施状況と、授業の内容をふまえて適切に実施できているかで評価する。

発表は、課題となっている文献の理解度と、説明の適切さで評価する。

授業参加度は、授業活動への積極的な参加態度や、授業への貢献度で評価する。

最終課題は、学術論文の読解に必要な語彙、文型、表現、構成などの把握程度で評価する。

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件となる。すなわち、この条件を満たさない場合、自動的にF(不可)とする。

履修上の注意 (関連科目情報)

- ・本授業は上級レベルの日本語科目である。中上級レベルの学習を終えている、または、GEC-JTestで「上級レベル」と判定された学習者を対象とする。
- ・日本語IV Aを同時に履修することが望ましい。
- ・交換留学生 (特別聴講学生) 履修可。

事前・事後学修

- ・2回目から6回目にかけて行われる「論文を読む」活動については、事前学修（単語（漢字）の読み方、意味の確認など）が必要である（前の回に読み物を配布）。
- ・7回目授業では、事前学修として、論文発表の準備が必要である（詳細については、1回目の授業で説明する）。

※本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

オフィスアワー：月曜日 13:30～15:00 これ以外の時間は、要事前連絡。

オフィス：グローバル教育センター3F

E-mail：wanghaitao[AT]people.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実アドレス@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

学生へのメッセージ

外国語学習においては、大量のインプットが非常に重要だとされています。皆さんがそれぞれご興味を持つ専門分野の学術論文を積極的に探し、読解を通じて著者の文章構成や論理展開、言語表現などの知識を学び、蓄積していくことをお勧めします。授業内外で得た知識を積み重ね、それを学術論文の読解や作成などの研究活動に活かしていきましょう。

今年度の工夫

実際に書かれた学術論文を読解することを通じて、論文構成、論理展開、言語表現などを学び、各自がアカデミック・リーディングなどの研究活動に必要な知識と能力を身につける。

教科書

BEEF+で配布する論文・各自が選んだ論文などを用いる。

参考書・参考資料等

授業中に提示

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語 上級 読解 学術論文 交換留学生（特別聴講学生）可